

(地 392)

令和 2 年 1 1 月 1 0 日

都道府県医師会

担 当 理 事 殿

日本医師会常任理事

長 島 公 之



NBCR対策推進機構

第3回「CBRNEテロ・災害と医療対策担当者養成講習会」の開催について（再依頼）

さて先般、令和 2 年 9 月 9 日付（地 303）の文書をもって、貴会にNBCR対策推進機構による「CBRNEテロ・災害と医療対策担当者養成講習会」の開催についてご案内をお送り申し上げたところですが、同機構より再度、周知方依頼がありました。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただくとともに、貴会災害医療担当者等への周知方につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

記

NBCR対策推進機構

第3回「CBRNEテロ・災害と医療対策担当者養成講習会」

開催日：令和2年12月6日（日） 9：00～17：00

締切日：令和2年11月17日（火）

定員 会場：30名 オンライン：100名

費 用：NBCR対策推進機構の個人正会員：1.5万円

NBCR対策推進機構の団体正会員：1万円

非会員：2万円

場 所：エピオス セミナー・ルーム

東京都江東区富岡1-26-15 飯田ビル5F

02NBCR第222号
令和2年11月 2日

公益社団法人 日本医師会
常任理事長 島 公 之 殿

特定非営利活動法人
NBCR対策推進機構
理事長 井上 忠雄



第3回「CBRNE テロ・災害と医療対策担当者養成講習会」の
都道府県医師会への再度の広報についてのお願い

謹啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

弊機構は令和2年度事業の一環として、第3回「CBRNE テロ・災害と医療対策担当者養成講習会」を別添のとおり計画し、公益社団法人日本医師会殿のご後援を得て目下鋭意準備中です。

本講習会の都道府県医師会への広報につきましては、既に「02NBCR 第174号（令和2年9月1日）」にてお願いしているところではありますが、受講希望者が予定人数に達していないため、誠に恐縮ではありますが、再度の広報をご配慮賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

謹白

別添：第3回「CBRNE テロ・災害と医療対策担当者養成講習会」（案）

問合せ先	益田亮介、阿部剛士、吉田 満
電 話	03-5829-6187
F A X	03-5829-6197
E-mail	info@nbcr-taisaku.com

第3回「CBRNE テロ・災害と医療対策担当者養成講習会」(案)

ー救命救急医・産業医等及び CBRNE 災害対策担当者等が知っておくべきことー

(1 級認定コース・日医生涯教育制度 4.5 単位認定)

主催 NPO 法人 NBCR 対策推進機構

後援 公益社団法人 日本医師会

開講 (オンライン受講及び会場受講) のご案内

世界ではあらゆるところで、テロを含む人為的災害、自然現象等に起因した特殊な災害が多発しております。最近の英国における神経剤「ノビチョック」による殺人未遂事件やマレーシア・シリア・英国等における有毒化学剤によるテロ頻発や戦場での化学兵器の使用、米国における大規模塩素流出事故、或いはスリランカにおける爆弾テロなどにより、子供を含む市民や軍人等が多数死亡しています。また、日本の国内においても、昨年1月の群馬県・草津白根山の噴火による死傷者の発生等、連日のように「まさか」と思うようなテロや事件・事故が発生しております。2021 年の東京オリンピック・パラリンピックを目前に控え、また、全国各地で開催されるビッグ・イベント等に備え、最近では、特に、爆弾テロや毒性化学物質等による化学テロを始めとした CBRNE 災害と医療対策の重要性が改めて認識されております。

そこで、今回は、新型コロナウイルスの全国的な流行拡大等も考慮して、これまでとは異なったオンライン講習会を主体とした、「各種テロ・災害と医療対策」を主体に医療と消防の連携も加えた、「CBRNE テロ・災害と医療対策担当者養成講習会」(救命救急医・産業医等及び CBRNE 災害対策担当者等が知っておくべきこと) (1 級認定コース) を開講することと致しました。今回の講習会では、災害と医療、化学テロ・化学災害、バイオテロ・バイオ災害、放射線テロ・放射線災害、核テロ・核関連災害、爆発物テロ・爆発物災害等の各種災害と医療対策、消防と医療の連携などの CBRNE 全般に亘る医療対策に焦点を当て、これらの災害事態に対処能力の向上が出来る講習会を企画いたしました。

特に、本講習会は、我が国の CBRNE テロ・災害と医療対策の全般に亘って真に役立つ危機管理コース (CBRNE 危機管理者 1 級認定) で、特にオンラインによる受講の皆様には会場受講と全く同様な配布資料等により受講頂く事に致しました。また、今回も日本医師会生涯教育制度の認定を頂く予定です。

ご多忙中の折柄誠に恐縮に存じますが、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

令和 2 年 11 月 吉日

NPO 法人 NBCR 対策推進機構

会 長 片 山 虎之助

理 事 長 井 上 忠 雄

第3回「CBRNE テロ・災害と医療対策担当者養成講習会」(案)

ー 救命救急医・産業医等及び CBRNE 災害対策担当者等が知っておくべきこと ー

1 級認定コース・日医生涯教育制度 4.5 単位認定

主催 NPO 法人 NBCR 対策推進機構

後援 公益社団法人 日本医師会

■ 趣 旨

最近、英国における神経剤「ノビチョック」による殺人未遂事件やシリア・イラク等ではサリン・マスタードガスや塩素などを使った化学テロ等が頻発しています。また、マレーシアの空港では猛毒の VX による殺人テロ事件やスリランカにおける爆弾テロ等が起こっています。幸い我が国では 1994・1995 年のサリン事件以降、CBRNE を使用した大規模なテロ事案は発生していませんが、2015 年には猛毒リシンを焼酎に混入させた殺人未遂事案や多くの化学災害事案・爆発物の製造等の事案が起きています。一度 CBRNE テロや CBRNE 災害が発生すると多くの傷病者が発生します。地下鉄サリン事件では 6300 人が被害に逢い、その多くが 280 の病院で受診し、95 余の病院に約 1,000 人が入院し加療を受けました。CBRNE 災害では、検知・警報、防護、除染、医学的対応が重要ですが、特に生命の救出に関わる医学的対応が重視されています。平素から CBRNE テロ・災害等の関連情報を収集・評価し、最新の情報・経験を踏まえてテロ対策等を見直した訓練や講習を実施する必要があります。

今回の講習会では、化学テロ・化学災害、バイオテロ・バイオ災害、放射線テロ・放射線災害、核災害、爆発物テロ・爆発物災害等 CBRNE 災害全般に亘り、医療対策を主軸に、消防と医療の連携等を含め、対処能力の向上に真に役立つ対策等を現在、日本の夫々の分野で第 1 人者の講師の先生方に解説して戴きます。

■ 講習対象者

救命救急医、産業医、病院等医療危機管理担当者、保健所職員、消防関係職員、企業危機管理担当者、自治体危機管理関係者

■ 認定証発行

講習修了時認定試験を行い、「CBRNE 災害対策危機管理者認定証（1 級）」を発行します。

■ 講習日時等

講習日時	受付締切	定 員
令和 2 年 12 月 6 日（日） 9:00～17:00	11 月 17 日（火）	・会場：30 名 ・オンライン：100 名

■ 細 部

※ カリキュラム：

付紙－1

※ 申込：オンライン受講の場合は E メールにて、弊機構事務局宛<info@nbc-r-taisaku.com>にお申込みください。申込方法は、E メールタイトル「12 月 CBRNE 対策医療講習会申込」、メール本文に、受講者氏名（ふりがな）・請求書あて名・住所・電話番号・E メールアドレス・弊機構の会員有無を記載をお願いします。

会場受講の場合は、E メール・FAX（FAX 申込書 付紙－2）どちらからでも申込可能です。

※ 会場：(株)エピオス セミナー・ルーム（〒135-0047 東京都江東区富岡 1-26-15 飯田ビル 5F）

東京メトロ東西線門前仲町 2 番出口、都営大江戸線門前仲町 5 番出口、徒歩 8 分

付紙－2

※ 締切：先着定員になり次第申込を締め切り。オンライン受講者・会場受講者の合計が 30 名以下の場合は延期し順延の通知。

※ 費用：2 万円（個人正会員：1.5 万円） 会場受講、オンライン受講、金額に差はありません

■カリキュラム

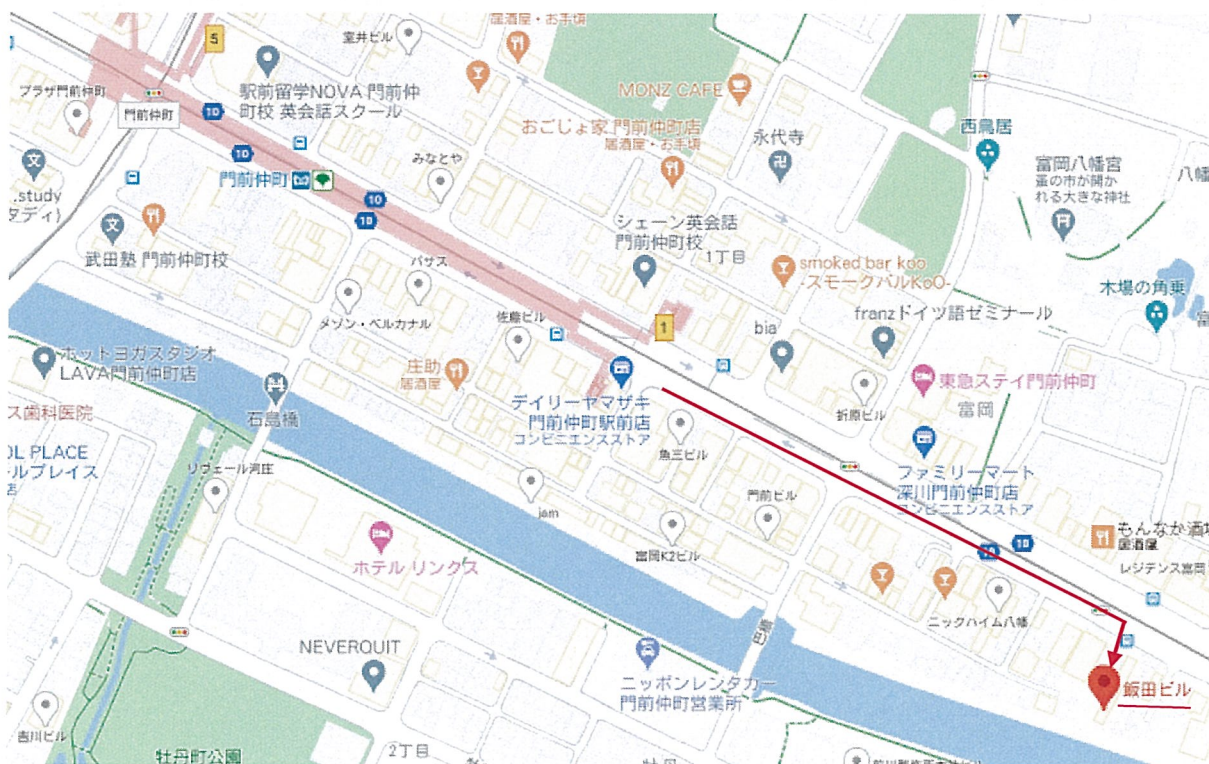
日	時 間	科 目	講 師
12月6日(日)	09:00～09:10	※ オリエンテーション	弊機構理事長（元陸自化学校長） 井上 忠雄
	09:10～10:00	1 災害と医療対策 ー救急医療の側面からー (質疑応答5分を含む)	日本医師会 常任理事 長島 公之 先生
	10:00～11:00	2 化学テロ・化学災害と医療対策 (質疑応答5分を含む)	医療法人社団元気会 横浜病院長 箱崎 幸也 先生
	11:00～11:10	休 憩 (10分)	
	11:10～12:00	3 新型感染症への備え ー新型コロナウイルスを中心にー (質疑応答5分を含む)	防衛医科大学校医学教育部医学科 内科学講座（感染症、呼吸器）教授 川名 明彦 先生
	12:00～12:50	休 憩 (昼 食)	
	12:50～13:50	4 放射線テロ・放射線災害と医療対策 (質疑応答5分を含む)	東京医療保健大学大学院教授 (元量子科学技術研究開発機構上席研究 フェロー) 明石 真言 先生
	13:50～14:40	5 核テロ・核関連災害と医療対策 (質疑応答5分を含む)	国際医療福祉大学 クリニック院長 鈴木 元 先生
	14:40～15:30	6 爆発物テロ・爆発物災害と医療対応 (質疑応答5分を含む)	東京都災害医療コーディネーター 杏林大学医学部主任教授 高度救命救急センター長 山口 芳裕 先生
	15:30～15:40	休 憩 (10分)	
	15:40～16:30	7 医療と消防の連携 (質疑応答5分を含む)	東京消防庁装備部長 石川 義彦 先生
	16:30～16:35	休 憩 (5分)	
	16:35～16:55	8 試 験	
	16:55～17:00	修了証・認定証付与	

*講師の先生と講義の順序につきましては、止むを得ない事情により、
変更となる場合がございますのでご承知おきください。

第3回「CBRNE テロ・災害と医療対策担当者養成講習会」会場受講専用申込書

申込締切	令和2年11月17日(火)		
申込先 FAX	03-5829-6197		
申込者(所属・団体名、 取り纏め担当者氏名)			
受講者	氏名(ふりがな) ()	所 属	職 名
※ 楷書にて分かりやすく ご記入下さい。	()		
所在地	〒		
連絡先	Eメールアドレス(必須): 電話番号: FAX 番号:		
会員の方は ○でお囲みください	NBCR 対策推進機構 : 個人正会員 ・ 団体会員		
要望事項・請求書の 宛名等			

- 会場: (株)エピオス セミナー・ルーム (〒135-0047 東京都江東区富岡 1-26-15 飯田ビル 5F
(地下鉄東西線、大江戸線「門前仲町駅」2番又は5番出口を出て永代通りを木場方向へ徒歩約8分。
トヨタレンタカー隣り駐車場はありません)



◆連絡先 NBCR 対策推進機構 TEL:03-5829-6187 Eメール:info@nbcrtaisaku.com 担当: 阿部剛士